

新型コロナウイルス感染症対応について

- 学校での対策…できる限り慎重に。ゆるめるときは段階的に。
 - ・「三密」の回避
 - 「密閉」回避…窓とドアを常に開けて換気
 - 「密集」回避…班活動の中止／学年集会等は子供同士の距離を取り、短時間で実施
 - 「密接」回避…前方を向いての給食／対話の代わりに付箋の活用
 - ・道具の共用…「手で触れるもの」は原則共用中止／共用した場合は消毒
 - ・施設の消毒…下校後の机、ドア、トイレ、階段手すり等、触れるところは毎日消毒
- 各ご家庭へのお願い(区通知の通り)
 - ・手洗いやマスク着用等の基本的な感染症対策を徹底してください。
 - ・免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動や栄養バランスのとれた食事、規則正しい生活リズムを心がけてください。
 - ・当面の間、毎朝登校前に検温と健康観察をしてください。
 - ・体調が悪い場合は、無理をさせず、自宅で休養を取らせてください。症状については詳しく学校へお知らせください。

《教育目標》

- ・かしこく
自ら考え進んで学ぶ子ども
- ・なかよく
豊かな情操のある子ども
- ・たくましく
健康でたくましい子ども

「すすんで学び、ともにかしこくたくましく」

- 学習内容について
 - ・教科書の内容は、昨年度3月分からすべて終わらせます。(知識・技能等の習得)
 - ・授業の進め方については、大胆な軽重を付けます。
内容のまとまり(単元)ごとに、思考力・判断力・表現力の育成と、主体的に学ぶ態度の涵養に努めます。
 - ・私費会計(保護者負担金)の削減を目指します。
カラーテストの購入の代わりに、教科書プリントや独自プリントで知識・理解の確認をします。
(例)漢字については、「普段のノートを書くときに、習った漢字を使える」で概ね満足(B)とします。
(例)計算については、「教科書についている例題をすらすら解ける」で概ね満足(B)とします。
- 児童が学びを進める授業づくり
 - ・児童による「学習リーダー」をはじめとする、自主的な学び・全員活躍型の授業を構築していきます。
- その他の教育活動について
 - ・運動会・学芸会について
形を変えてでも、実施できないか検討しているところです。
 - ・「読み取る力」の育成…「短い文章を正しく読み取る」「教科書を正確に読める」
リーディングスキルテストを活用します。
「係り受け解析」「照応解決」「同義文判定」「推論」「イメージ同定」「具体例同定」の6項目から分析・対策を行っていきます。
- 各ご家庭へのお願い
 - ・休校期間中の「家庭学習の課題」への取組について、ご協力ありがとうございました。
 - ・家庭学習の習慣付けを引き続きお願いします。目安は「その日の授業内容をその日のうちに身に付ける」です。
 - ・宿題以外の学習内容としておすすめは、「視写(写し書き)」です。
国語だけではなく、算数や社会・理科等の教科書の視写は、学習のポイントもつかむことができます。
自分の好きなもの(犬・猫・恐竜・スポーツ等)を調べ、写し書きする、独自のポイントを書く、感想を書く等もおすすめです。



板橋区の施策「いたばし学び支援プラン2021」

- 板橋区の施策「いたばし学び支援プラン2021」
 - 1 保幼小接続・小中一貫教育の推進
 - ・保幼小接続→「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」で学びをつなぐ
 - ・小中一貫教育→「板橋区小中一貫教育ガイドライン」で小学校と中学校、9年間の学びをつなげる
志村坂下小学校…「FLC学びのエリア」(志四中、志村小、北前野小、緑小、志村坂下小の5校)
取組例 ・「学びのエリア」ごとにめざす子ども像、基本方針を設定
 - ・「学びのエリア」における児童・生徒の交流(秋に志村坂下小学校を会場に「学びのエリア別研修会」を実施)
 - ・中学校での学年呼称変更(「学びのエリア7年生」「学びのエリア8年生」「学びのエリア9年生」)
 - 2 板橋区コミュニティ・スクール(iCS)の導入
 - ・学校・家庭・地域が課題や目標を共有しながら地域の子供たちとともに育む(課題や目標共有のための「熟議」を行う)
 - ・学校支援地域本部、PTA他、地域人材による学校支援活動の充実を行う
 - 3 教職員の働き方改革
 - ・心身ともに健康な教職員による、質の高い授業づくり